

第3回定例会

平成23年度各会計の決算を認定

一般会計決算歳出総額876億円

平成23年11月に開館した

郷土の森観光物産館



▲物販コーナー



▶お土産コーナー



▶レストラン「古都見カフェ」



▶情報発信コーナー

平成24年第3回市議会定例会は、9月3日から28日までの26日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、平成23年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど20件を審議した結果、可決7件、認定8件、同意5件となりました。議員提出議案は「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書を審議し、可決されました。

また、陳情8件が審議されました。

平成23年度の決算は、一般会計歳入歳出予算額911億5861万7000円に対し、歳入決算額は、906億1796万6776円で、執行率は99.4%、歳出決算額は、876億9266万1241円です。執行率は96.2%です。

その結果、歳入歳出差引額は、29億2530万5535円となり、このうち1億円については、法の規定により財政調整基金に編入をしています。

この議案の提案に当たり、市長から「厳しい財政状況の中、小・中学校を初めとする公共施設の耐震化事業や待機児童解消を図るための保育所定員の増など課題解決に向け、既に手掛けている事業を着実に推進した。また、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業など新たな施策も積極的に実施したほか、東日本大震災の発生を受け、市民の生活を守るため、防災ハンドブックの全戸配布を行い、福島第一原子力発電所の事故等への対応としては放射線量測定事業等に取り組んだ」との説明がありました。そして、9月20日から26日までの5日間で開催された決算特別委員会で慎重な審査が行われました。9月28日の本会議で、賛成・反対討論が行われ、採決の結果、賛成多数で平成23年度一

一般会計歳入歳出決算は認定されました。

(関連記事2・3ページ)

意見書

◎「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

東日本大震災における我が国の対応は、緊急事態に対する取組の甘さを国民と世界に広く知らしめる結果となった。世界の多数の国々は今回のような大規模災害時には「緊急事態宣言」を発令し、政府主導のもとに震災救援と復興に対処している。

我が国の憲法はその前文に代表されるように、平時を想定した文面となっており、外部からの武力攻撃や大規模自然災害等を想定した「非常事態条項」が明記されていない。平成16年5月には、その不備を補足すべく、民主、自民、公明3党が「緊急事態基本法」の制定で合意したが、今日ま

人事議案

定例会最終日の本会議に市長から教育委員会委員の任命の同意を求める議案と府中市オンブズパースンの委嘱の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

■教育委員会委員

- 村越 ひろみ氏 (52歳)
- 松本 良幸氏 (52歳)
- 浅沼 昭夫氏 (63歳)
- 府中市オンブズパースン
- 戸井田 哲夫氏 (62歳)
- 真野 文恵氏 (56歳)

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

<9月>

- 3日 本会議(委員会付託等)
- 4日 " (一般質問)
- 5日 " (")
- 6日 総務委員会
- 7日 文教委員会
- 10日 厚生経済委員会
- 11日 建設環境委員会
- 12日 基地跡地対策特別委員会
- 13日 再開発対策特別委員会
- 14日 市庁舎建設特別委員会
- 19日 本会議(常任委員会審査報告等)
- 20日 予算・決算特別委員会
- 21日・24日・25日・26日 決算特別委員会
- 28日 本会議(特別委員会審査報告等)